

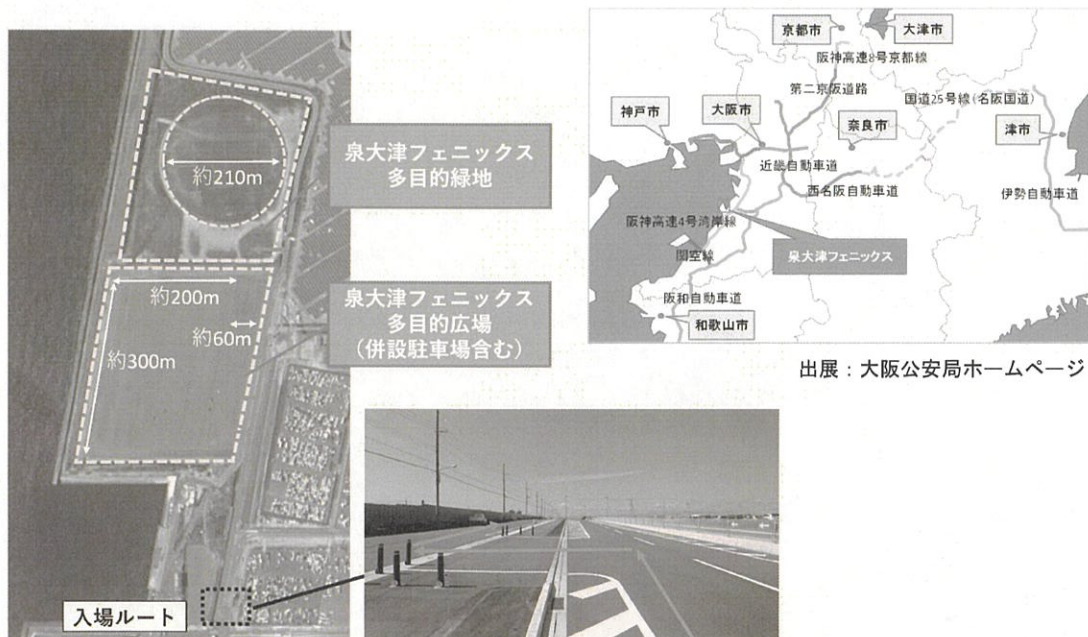
2026年 第10回

全日本臭気選別競技大会

競技会会長 塩谷 立 実行委員長 勝又幸範

- 主 催 公益社団法人日本警察犬協会
担 当 近畿公認訓練士会
会 場 大阪府泉大津市夕風町・泉大津フェニックス多目的緑地
駐 車 場 泉大津フェニックス多目的緑地（会場清掃費として1台1,000円頂戴いたします。）
会場HP <https://www.pref.osaka.lg.jp/kowan/phoenix-hiroba/index.html>
日 時 2026年3月22日（日）午前8時受付 午前8時30分競技開始
※ 大会前日の練習は11時から16時までです。設営場所ではできませんが、緑地では可能です。
※ 大会当日は、6時開門です。6時前には入れません。
※ 駐車場での車中泊はできません。
出 場 料 10,000円（各クラスチャンピオンにガウンを進呈いたします。参加者全員に参加賞あり。）
※ 申込後の欠席犬の出場料は、返金いたしません。
※ 出場料は、申込期日までに、必ず申込みと同時に納入してください。
※ 不備があった場合は、出場できません。
※ 申込時には、開催期間中に有効な狂犬病予防注射済証明書又は注射済票のコピーを必ず添付してください。添付されない場合は、出場できません。接種日が申込締切後の方は、大会開催日の7日前（必着）までにメール又は、FAXにてお送りください。大会当日は、受け付けできません。期日までに提出できない場合は必ず事務局へ御相談ください。
※ 狂犬病予防注射済証明書での出場は認められません。
※ 1-A（警察犬種・警察犬種外） 2-AD（警察犬種・警察犬種外共通）の3科目で行います。
申込締切 2026年2月20日（金）必着（FAX・メール可。ただし着信確認の御連絡をお願いします。）
出場申込先 公益社団法人日本警察犬協会
〒110-0015 東京都台東区東上野4-13-7
TEL 03-5828-2521 FAX 03-5828-3768
入金方法 郵便振替 口座番号 00140-9-22129
口座名 公益社団法人日本警察犬協会
現金書留 〒110-0015 東京都台東区東上野4-13-7
公益社団法人日本警察犬協会
銀行振込 りそな銀行 秋葉原支店 口座番号（普）0548599
口座名 公益社団法人日本警察犬協会
※ 御入金の際は、明細が分かるよう明記してください。
※ 銀行振込の際は、明細を御連絡ください。
個体識別（マイクロチップ、耳番号）登録が済んでいること。
個体識別確認について
個体識別確認は、競技終了後に行います。申込犬と違った場合は、欠席扱いとなります。
◎ 1回戦で満点を獲得した犬は、1回戦の全ての犬の競技が終了後2回戦を行います。
◎ 2回戦以降は、進行により、1回戦で使用した選別台から変わる場合があります。
◎ 選別台は、全日本囀託警察犬競技大会、日本訓練チャンピオン決定競技会で使用の選別台とは違う選別台を使用する場合があります。
◎ 当競技会の審査手簿は、1年間保管いたします。
◎ 競技会に御参加をされる方のビデオ撮影等につきましては問題ございませんが、他の参加者に対する肖像権のお取扱には御注意ください。
◎ その他、追加、変更点等ございましたら、当協会ホームページにて告知をさせていただきます。

全日本臭気選別競技大会 会場案内図



出展：大阪公安局ホームページ

電車でお越しの方

大阪市内、神戸、京都方面からお越しの方は、

南海難波駅より急行(和歌山市または関西空港行き)で約19分、泉大津駅下車となります。

関西空港方面からお越しの方は、南海関西空港駅より空港急行(難波行き)で約27分、泉大津駅下車となります。

泉大津駅から会場まではタクシーで約10分となります。

自動車でお越しの方

大阪市内、神戸、京都方面からお越しの方は、阪神高速4号湾岸線「助松」出口から府道29号線(大阪臨海線)を南へ、「汐見町」交差点を右折し直進となります。

和歌山方面からお越しの方は、阪神高速4号湾岸線「岸和田北」出口から府道29号線(大阪臨海線)を北へ、「汐見町」交差点を左折し直進となります。

2026年 第10回

全日本臭気選別競技大会 規定

日 時

2026年3月22日（日）

審査の判定不能な悪天候、その他出場頭数が多く期日内に実施不可能な場合は、順延変更する場合がある。

出場犬資格

本協会会員の所有する本協会の登録犬にして、PAH3、PBH3、PSH3、PHまたは同等の国際公認訓練資格を有する警察犬種の七犬種とする。

また、狂犬病予防注射済（期間内）の犬であること。伝染病犬は出場できない。競技会期中の発情犬は、競技担当者に申告して指示を受けるものとする。個体識別（マイクロチップ番号または耳番号）が犬籍に登録されていて、読み取り可能なこと。

なお、作業中のスパイク首輪の使用は認めない。

警察犬種外は、所有者が会員であり、マイクロチップによる個体識別ができること。PAH3、PBH3、PSH3、PH、または同等の国際公認訓練資格を有すること。また、狂犬病予防注射済の犬であること。

2-A Dは、警察犬種、警察犬種外共に所有者が会員であり、マイクロチップによる個体識別ができること。PAH1、PBH1、PSH1、PGH1以上のいずれかを取得。また、狂犬病予防注射済の犬であること。

指導手資格

- 1 本協会の会員であること。
- 2 指導手がアマチュアの場合は、原則として、自己所有の犬のみとするが、当該犬の所有者と生活の基盤を同一にする家族については、指導手として当協会本部に申告の上、これを認め得るものとするが、指導手は、当協会の会員であること。
- 3 他人の犬の指導手として出場できるものは、当協会公認訓練士又はその助手に限る。

出場順序

申込み締切後、本部において決定する。

入 賞

- | | |
|----------|--------------|
| 1-A | 最高得点から5頭前後まで |
| 1-A警察犬種外 | 最高得点から3頭まで |
| 2-A D | 最高得点 |

順位決定

3位以内に同点犬が生じた場合は、該当する同点犬のみにより、さらに順位決定作業を実施の上、決定する。

称 号

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 2026年度 | 全日本臭気選別チャンピオン |
| 95点以上の最高得点犬又は95点以上の得点犬で順位決定戦で優勝した犬 | |
| 2026年度 | 全日本臭気選別チャンピオングループ |
| 95点以上の得点犬 | |
| 2026年度 | 全日本臭気選別リザーブチャンピオン |
| 90点以上、95点未満の得点犬 | |

臭気選別競技規定の変更は、2026年3月22日開催の本大会からになります。
(下線部変更)

科目構成

- 1 原則として臭気選別を4回行なうが、最初から連続して3回成功したときは、4回目を省略する。
- 2 原臭白布、物品白布ともに、布片、縦約20cm、横約10cmとする（全作業共通）。
- 3 臭気は、原則として靴下又は肌着類からの移行臭とする。
- 4 臭気の移行時間は、1時間～5時間とし、数日前に施行する。
- 5 原臭は、出場者との分離性を確保する。
- 6 原臭白布、物品白布は、袋及び段ボール箱で密閉して保管をする。
- 7 移行臭の作成は、一つの袋で行う。
- 8 選別台は、高さ約16.5cm、幅約21cm、長さ約91cmを2台並べて1台（長さ約182cm）として使用する（全作業共通）。
- 9 一体化した選別台の穴の位置は、左隅から10cm、40cm、40cm、40cm、40cm、10cmとする（10%の誤差は認める。従来の選別台は使用可）。
- 10 選別台と選別台の距離は、7～15mとする（距離は会場責任者と審査員で協議する。）。
- 11 選別台上に設置する物品白布は、原臭、対象臭及び誘惑臭の白布ともに、あらかじめ臭気を付着させ、各々ポリ袋に保存し、係員の臭気が付着しないようピンセット等を使用して設置する。白布の臭気付着程度は、原臭、対象臭及び誘惑臭ともに同程度とする（毎回同一者臭とは限らない。）。
- 12 設置した選別台より約3m手前（3mライン）と10m手前（スタートライン）に白線か紐等で横線を張る。
- 13 ルーレットは、内部が回転式になっているバケツを使用する。審査員がルーレットを回転させる。
- 14 原臭白布は、係員のピンセットにより直接受け取る（全作業共通）。
- 15 犬に原臭白布を嗅がせ、前方約10mの選別台の上に軽く差し込んだ1個の対象臭白布と4個の誘惑臭白布の計5個の中から原臭白布と同一臭気の対象臭白布を選別持来させる。
- 16 競技中の排便及び排尿については、その時点で中止とする。ただし中止以前の得点は付与する。
- 17 競技中に犬が別の選別台にいった場合、その時点で中止とする。ただし中止以前の得点は付与する。
- 18 競技中に犬が与えられた作業範囲よりも約7m以上を四肢が完全に超えた場合、その時点で中止とする。ただし中止以前の得点は付与する。
- 19 会場に設けた作業範囲を示す境界線（前後左右）を四肢が完全に超えた場合、その時点で中止とする。ただし中止以前の得点は付与する。

実施要領

- (1回戦) (この得点が臭気選別競技の成績となる。)
- 1 作業タイムは1分間。指導手が係員より原臭白布を受け取ってから、犬の四肢がスタートラインを越えた時点までとする。
 - 2 指導手は、審査員の指示により、所定の位置（出発地点）に立ち、犬と共に背面停座待機する（全作業共通）。指示により、選別台方向に向き、係員より直接原臭の白布を受け取り、犬に嗅がせ「捜せ」、「持って来い」等の命令で出発させ、犬が物品白布をくわえ持来したら、指導手は犬を対面停座又は直接停座させて物品白布を受け取ることが原則であるが、犬の四肢がスタートラインを越え、かつ、物品白布もスタートラインを越えた位置に犬が物品白布を落とした場合は、雨、風、その他の条件により審査員の指示で指導手が拾うことができる。
 - 3 犬が物品白布をくわえ、選別台から四肢が3mラインを完全に越えたならば招呼してもよい。スタートラインと3mラインの間での招呼は任意であるが、犬が逸走したときは、招呼しなければならない。この場合、2回までの招呼に応じないときは、その回の作業は中止（失敗）とする。
 - 4 選別台から3mライン内は、犬の自主的なくわえ直しは自由とする。ただし、犬が選別台と3mライン内にいるとき（3mライン内に四肢全てが入ってから、四肢が完全に出るまでの間）は一切の声符、視符等は禁止する。もしそれらの行為があったと認められたときは、選別作業の結果に関係なく、その回の作業は、不成功（失敗）とする。
 - 5 犬の四肢が選別台から3mラインを完全に越え、再び四肢が完全に3mライン内に進入したときは、その回の作業を中止（失敗）とする。

- 6 犬が物品白布をくわえ選別台（側）から3mラインを四肢が完全に越え、スタートラインとの間に物品白布を落とし持来せず四肢が完全にスタートラインを越えたときは、不成功（失敗）とする。
- 7 犬の位置が3mライン内、物品白布の位置（落とした位置）が3mライン外の場合の審査判断は、犬の四肢の位置には関係なく布を落とした位置を基準とする。物品白布の位置が3mライン上（接している。）の場合は、3mライン内扱いとする。
- 8 ゼロ回答の場合は、5枚の物品白布全てを確実に嗅ぐこと。嗅ぎ分ける動作（意思）が見受けられず、指導手の元へ戻った場合は、不正解とする。
- 9 従来の有回答における不持来は△であったが不正解とする。
- 10 1回戦のみ、再スタートを各回につき1回認める（最大4回）。再スタートをした場合、各1点の減点とする（最大4点）。2回戦以降の再スタートは認めない。
- 11 対面停座及び直接停座の際「過度な体当たり」、「過度な飛びつき」、「犬が物品白布を放さない」等の状況によって1点減点とする。

Ch決定戦選出作業

科目構成

犬に原臭白布を嗅がせ、前方約10mの選別台の上に軽く差し込んだ1個の対象臭物品白布と4個の誘惑臭物品白布計5個の中から原臭白布と同一臭気の対象臭物品白布を選別持来させる（ただし対象臭物品白布の無いゼロ回答を行なう事を原則とする。）。
○ 臭気は、原則として靴下又は肌着類からの移行臭とするが、移行時間、施行日は不規則とする。

実施要領

臭気選別作業を4回以上行なうこととするが、状況により、実施回数の調整を行なうことがある。

- ゼロ回答の場合も3mライン内での一切の声符、視符を禁止する。
- 複数回のゼロ回答を行なうこともある。
- この結果については、○×表示を原則として行なうが、状況によって行わない場合もある。

◎ 決勝戦

選別作業を行ない、その成績によって順位決定をする。

- 移行臭は、靴下、肌着類とは限らず、さらに移行時間等の調整を行なう。
- Ch決定戦は、状況により予告をして、犬及び指導手の態度を減点の対象とすることがある。
- 上位3頭以内に同点があった場合は、複数の審査員により、順位が決定するまで競技を行う。
- その他は、Ch決定戦選出作業に準じて行なう。

臭気選別競技得点表

○○○	100.0
×○○○	90.0
××○○	60.0
×××○	30.0
××××	0

※ 競技会規定に従い厳正公平に審査をいたします。判定に対しては、何人も異議を申し立てることはできない。ただし、根拠のある意義に対しては、審議を行うものとする。正当な理由のない申し立てについては、賞罰委員会の審議の対象となる場合があります。

2－AD（2部選別専科）

科目構成

- 1 移行臭本物品 1 名、移行臭誘惑物品 1 名とする。
- 2 その他の科目構成は、1 部選別作業と同じとする。

実施要領

- 1 ゼロ回答選別作業は実施しない。
- 2 犬が不持来をして、スタート（ゴール）ラインを四肢が越えた場合は、不正解とする。
- 3 3 m ラインは設けない。
- 4 犬が物品白布を咥えたら、招呼してもよい。犬が逸走したときは、招呼しなければならない。この場合、2 回までの招呼に応じない場合は、その回の作業は中止し不正解とする。
- 5 再スタートは、1 回戦及び 2 回戦も認める。
- 6 1 回の作業につき、再スタートは 3 回まで。
- 7 再スタートは、1 回につき、1 点減点
- 8 選別作業は、2 回戦までとし、2 回戦が同点の場合は、作業態度で順位を決定する。
- 9 1 回戦が満点の犬のみ、2 回戦に進める。
- 10 2－AD 実施要領を除き、その他、1 部選別作業に準ずる。